

2007
April

vol.
37

The Marian



京都ノートルダム女子大学 同窓会 会報

- 第42回総会報告
- 第5回ホームカミングデーについて
- チャリティーバザーについて
- クラスアクティビティー案内
- 第43回総会案内



同窓会館 マリアンハウス

「心のホットライン」



会長 人長 久巳子
(7C)

就任早々、大学の新校舎建設、マリアンハウス移転などの大問題に直面したスタートでした。その後何人かの同窓生より「こんな時期に大丈夫なの」といったお声をいただきましたことを、学長のお耳に入れつつ、「新校舎をお建てになるなら、同窓会としては出来るだけの協力を」といった対応をしてみいました。しかし、昨年末に新校舎建設は延期になり、学院全体構想として計画を再検討することになりました。同窓会としては、マリアンハウスの駐車場として借用しているグラウンドの売却は決定事項なので、その時期が来れば何らかの手立てが必要になるでしょう。

大学は少子化時代の影響により、「学生の確保」が最大の問題となっています。そのため40数年目にして初めて同窓会へ協力依頼が来たほどです。昨年の「会報」発行後、ある同窓生より「地方に住んでいる者にとって、京都の同窓会は遠い存在である」との手紙が届きました。このような思いを持つ方々への対応として、従来のような「絵会の案内」による一方通行的な方法を改善し「各地区同窓会の立ち上げ」を呼びかけました。

その結果、昨年10月に「北陸地区」、12月には「和歌山地区」が発足し「第1回地区同窓会」が開催されました。同じ地区で「既に顔見知りだった人が同窓生だと知らなかった」という珍事もあり、より一層の親しみと絆が出来たように思います。同窓会にしても、大学にしても各地の「核になる存在」は、大きな力となるでしょう。また、同窓生の多くが教職者になっておられることも、未来の京都ノートルダム女子大生確保の強い味方になることでしょう。

今回、シスター方のご協力を得、「心のホットライン」を開設することになりました。めまぐるしい日常の中で、誰もが陥り易い「心の闇」、身近な人には話せない「悩み」などをシスター方とお話することで、なんらかの「ヒント」がいただけるかもしれません。どうぞ、ご利用ください。

さて、次期役員会のメンバーもほぼ決まり、私の任期もあと少しとなりました。

今は、「長くもあり短くもあり」の心境です。この2年間、役員の方々ははじめ大学関係者、先輩、後輩方に多くのご協力をいただき、感謝いたします。

やはりこの場が「心が通う場所」であったことを確信しながら…… ありがとうございました。

「心のホットライン」のご案内

(電話による相談)

☆ シスター セリーン 松本

毎月第1火曜日 午後1時～2時
唐崎修道院(電話)077-579-2884

☆ シスター メリー グレイス 和田

毎月第2金曜日 午前9時～10時
岩倉修道院(電話)075-791-7170

☆ シスター メリー アン 押山

毎月第3火曜日 午前10時～11時
京都ノートルダム女子大学記録資料室
(電話)075-706-3687

☆ シスター ベルナルド 岩井

毎月第4水曜日 午前9時～10時
今海道町修道院(電話)075-701-6631

※相談時間はシスターによって異なりますので、注意してください。
電話番号は間違わないよう、確認してからおかけください。

※京都ノートルダム女子大学「心理臨床センター」
(大学内マリア館)

(電話)075-706-3722

(受付時間)月～金曜日 午前10時～午後5時
相談等は有料(本学卒業生は半額)

○初めての方は、お電話でお問い合わせの上、ご予約ください
(完全予約制)

○電話でのご相談は応じかねますので予めご了承ください

(注)申込み、予約が出来ない日及び、期間があります
土、日、祝祭日、振替休日、大学独自の休日
夏期、冬期、春期休暇等、授業がない期間

目次

会報「マリアン」第37号

01	「心のホットライン」	会長 人長久巳子
02	「ごあいさつ」	学長、名誉顧問 相良 憲昭
	「光の輪」	顧問 東 朝子
03	第42回総会報告	
04	会計報告	
05	活動報告	
06	ホームカミングデーについて	
	「大学便り」	
07	関東支部だより	
08	中部支部だより	
09 10	地区同窓会報告	
11	祝周年記念同窓会報告	
12	「琵琶湖のほとりで…」	Sr.セリーン松本
13 14	チャリティーバザーについて	
	マリアンハウス運営委員会活動	
15	クラスアクティビティー案内	
16	国際交流マリアン奨学基金行事報告	
17	学年委員名簿	
18	第43回総会案内	



「ごあいさつ」

学長
名誉顧問 相良 憲昭

京都ノートルダム女子大学同窓会員の皆様にご挨拶を申し上げます。日ごろから、皆様の母校に対してご支援やご協力を頂戴しておりますことに、大学のすべての教職員を代表して、心からの感謝の念をお伝えしたく思います。いよいよ、かねてから社会問題視されてきた「大学全入」の年が始まりました。私たちのノートルダムもご他聞にもれず、受験生の獲得に苦戦をしており、来年度入学者が定員を満たしてくれるかどうか、楽観はできない状況にあります。

しかし、大学が順調に発展していることもまた事実であり、今年4月にはこれまでの人間文化学部生活福祉学科が、生活福祉学部として独立し、保育士の資格過程などが新設されます。これで本学は、人間文化学部（英語英文学科と人間文化学科）、生活福祉文化学部、心理学部という3学部体制となり、1学年あたりの総定員が430人となります。

最後に「マリアン」を拝借して、同窓会員の方々に一言おことわりを申し上げたく存じます。それは、すでに多くの方々がご存知だった「松ヶ崎キャンパス」の建築計画が延期となったことについてです。大学は来年度中に松ヶ崎地区に第二キャンパスを完成する予定で、計画を推進してきました。しかし、京都市が検討している新たな景観条例案によると、松ヶ崎地区の建築規制が従来よりも格段に厳しくなる見通しであること、また近隣住民の方々がわれわれの設計計画に強く反対なされたことなどを考慮した結果、松ヶ崎建築計画を全面的に見直すことにした次第なのです。

大学が発展を続け、学生や教職員の数が増加の一途を辿ってきましたから、新たな教育研究施設や管理運営施設が不可欠であることは明々白々です。野々神町の現在の土地と松ヶ崎に購入した新たな土地の有効活用を改めて考え、近々のうちに新たな建築計画を立ち上げる予定であることをご理解ください。

「光の輪」

顧問 東 朝子



皆様、お元気でいらっしゃいますか？

年々、びっくりするような事件や事故が増え、安心して暮らせない世の中になっていくのではないかと、不安を抱いているのは私だけではないと思います。

昨年の「マリアン」では、最近の学生の中になかなか社会（大学を含め）に適応できない人たち、悩みをもつ人たちが増えているという事を述べました。

ところが最近、卒業生の中にも、いろいろな悩みを抱え、苦しんでいらっしゃる方たちがやはり増えているのではないかと、という声を耳にしました。

故郷を離れて生活していらっしゃる方、結婚生活がうまく行かない方、大切なご家族を亡くされた方、ご病人の介護に疲れていらっしゃる方など、いろんな悩みをおもちのことでしょう。

そのような方たちの心の支えとなる活動として、Sr.セリーン松本が「NDおあしす京都」や「NDおあしす名古屋」をご担当くださっていると思います。

また新たに「心のホットライン」という活動も始められると伺いました。関東支部に於いても、東京在住の第1期卒業生、Sr.野本（援助修道会）が、このような活動のお手伝いができれば、と考えてくださっていますので、活動の進展が期待できると思います。

悩む人たちを支え、力となる事ができる人材も増えるといいですね。

ここ10年位でしょうか、毎年卒業式に「光になろう」という聖歌を歌っております。卒業する方たちに、「この世を照らす光」になっていただきたいとの願いを込めて、選曲したものです。

光の輪が皆様から大きく広がっていく事をお祈り致しております。



第42回 総会報告

2006年5月21日(日)

平成18年5月21日(日)「第42回同窓会総会」が京都宝ヶ池プリンスホテルにて開催されました。13名のシスター、先生方をお迎えし、同窓会員115名が集いました。

学歌斉唱の後、帰天された恩師、卒業生のご冥福を祈って黙祷を捧げました。会長挨拶の後、同窓会活動報告、会計報告、予算案承認など行い、関東支部長、中部支部長、四国地区代表の方が活動報告や告知をいたしました。そして、支援金がインド、ネパール教育修道会、グアテマラの伊藤照子さんを支援する会、イエズス会ラリグランスにそれぞれ贈呈されました。

名誉顧問の相良学長、顧問の東先生よりご挨拶いただき、祝周年に当たる学年の方へ、同窓会よりバラの花をプレゼントいたしました。

懇親会は理事長のSr.ジュディス鎌田の乾杯で始まり、来賓の先生方の紹介が行われました。歓談しながら会食し、エンターテインメントは、12期卒業生で現在、女優をされている「さかした日出美」さんによる一人芝居(演題『オーディション』)でした。迫真の演技に一同吸い込まれるように見入ってしまいました。

その後、恒例のミキモト製品等が当たる抽選会で盛り上がり、最後は再会を約束しながら、東先生指揮によるマリアンコーラスの歌声を聞き、全員で「シャローム」を合唱して終了いたしました。



2期生(40周年)



7期生(35周年)



12期生(30周年)



22期生(20周年)



マリアンコーラス



(一人芝居)さかした日出美様



平成18年度 活動報告

- 5月** 第42回総会（宝ヶ池プリンスホテル）
 関東・中部支部委員との合同ミーティング
 中・四国地区同窓会出席
 各クラス春期開講
- 6月** 国際交流マリアン奨学基金より留学生に
 奨学金授与
 ※ 料理講習会 「手軽なおもてなし料理」
 日文研 「聖護院見学と京象嵌製作体験」
- 7月** ※ 講演会 「老人介護の望ましいあり方」
- 9月** ※ バザー作品作り
 日文研 「司馬遼太郎記念館見学」
- 10月** 各クラス秋期開講
 マリアンハウスチャリティーバザー
 北陸地区同窓会出席
 九州 沖縄地区同窓会
- 11月** 大学 「ホームカミングデー」参加
 物故者追悼ミサ（ユニソン会館）
 中部支部同窓会出席
 ※ 講習会 「ビーズペンダント作り」
 日文研 「日本民家集落博物館見学」
- 12月** 留学生日帰りツアー 「西陣の町並見学」
 和歌山地区同窓会出席
 「ノートルダムクリスマス」 参加（ユニソン会館）
 ノートルダムクリスマス講演会 「世界に平和を！わが娘めぐみを語る」（ユニソン会館）
- 1月** 各クラス冬期開講
 日文研 新年会 「琵琶鑑賞」
- 3月** 同窓会新入会員への説明会
 第43回大学卒業式列席
 ※ 講習会 「ケーキ作り」
 日文研 「淀鋼迎賓館 俵美術館見学」
- 4月** 平成19年度大学入学式列席
 会報 「マリアン」 発行
 ※ 講習会 「アッセンデルフト」
 日文研 「寿長生の里 和菓子作り体験」

〈注〉※印はマリアンハウスプログラム
 日文研は日本文化研究会の略



平成19年度 同窓会本部役員候補者

会 長	(1 E) 中島 克子 (長谷川)
副 会 長	(1 E) 吉川みづほ (川 村)
会 計	(3 E) 林 満智子 (寺 田)
	(19E) 宮澤 紀恵 (小 林)
書 記	(1 E) 久萬田澄子 (沢 田)
	(5 E) 芝山 陽子 (芝 山)
庶 務 (広報)	(11E) 滝口 壽子 (高 橋)
	(13C) 谷川 郁子 (亀 有)
	(名簿) (19E) 清木なぎ子 (原 田)
	(19E) 宇山 尚子 (小 畑)

マリアンハウス運営委員会

	(12E) 中井 恭子 (塚 本)
	(23C) 瀧井 優子 (藤 井)
会計監査	(9 E) 吉田梨予子 (井 上)
相 談 役	(2 E) 本多 ゆり (佐 伯)

以上の方々が「指名委員会」によって推薦されました。
 同窓会「総会」にて承認を受けることになっております。
 よろしく願いいたします。

(指名委員会委員長 白井君子 (1 E))

平成18年度 同窓会本部役員

会 長	入長久巳子 (7 C)
副 会 長	大田喜代子 (4 E)
	下水木淑子 (9 C)
会 計	重松 叡子 (6 E) 吉田梨予子 (9 E)
書 記	島田真由美 (4 E) 谷川 郁子 (13C)
庶 務 (広報)	羽鳥美登里 (9 C) 田 靡 博子 (10E)
	(名簿) 西村 邦子 (5 E) 滝口 壽子 (11E)
マリアンハウス運営委員会	中井 恭子 (12E)
	岩間 恵世 (12E)
会計監査	片桐 比佐 (3 E)
(5月20日の「総会」で解散いたします。有難うございました)	



第5回 ホームカミングデー 2006年11月2日(木)



シスターメリーグレイス和田

大学祭1日目の11月2日、「懐かしの講義を今一度」のタイトルで第5回目となる卒業生のためのプログラムが開催されました。マリアンコーラスの歌の披露のあと、今回はSr.メリーグレイス和田による「共に生きてきた(京都)ノートルダム女子大学とその未来」のタイトルで、大学の歴史を振り返りながらお話をいただきました。

シスターは7期生と同時期に寄宿舍の舎監として本学にお越しになりました。行事が多くて戸惑うことばかりのころ、寄宿舍の学生に助けられ、慌ただしい中にも絆を深めたことは今も印象に残っていますと話されました。「万物流転」「いかに生きるか」を哲学の授業で語られ、共に大学の発展のために尽くし、そのことに多くの喜びを見出したと静かに語られるシスターに、大学や同窓生への深い愛を感じたひとときでした。今回初め



て出したテントでは寄贈品等の販売をし、模擬店の食べ歩きを楽しみました。マリア館のガイスラ



ーホールにはお茶・お菓子の用意もあり、同窓生と語り合いながら、ひと時、学生時代に戻れた一日でした。



「大学便り」

京都ノートルダム女子大学には、卒業生の方が自由に参加していただける様々な講座や催しがあります。皆様のお越しをお待ちしております。

◎ 卒業式へのご招待

平成13年度より卒業年度毎に同窓生の皆様を卒業式にお招きしております。

巣立ち行く後輩を共に祝福していただき、式典終了後には昼食をご用意しておりますので、懐かしいご学友との楽しいひと時をお過ごしいただければ幸いです。

「第43回卒業式」(平成19年3月14日)

8、9、10期生ご招待

「第44回卒業式」(平成20年3月14日)

11、12、13期生ご招待予定

◎ 大学祭

平成19年は10月27日(土)28日(日)

◎ ホームカミングデー

平成19年度は未定

ご好評の「懐かしい講義をもう一度」で講師としてお招きした先生方

平成15年度 渡辺 純先生

(本学名誉教授、元本学文学部教授)

平成16年度 Sr.メリージョセフ続木

(元本学文学部助教授)

平成17年度 阿部 哲三先生

(元本学文学部教授)

平成18年度 Sr.メリーグレイス和田

(本学名誉教授、元本学文学部教授)

平成19年度の講師は未定です。ご希望を大学総務課へお寄せください。

◎ 公開講座、公開セミナー

カトリック教育センター主催「春の講演会」

日時：平成19年5月30日(水)

午前10時45分～12時15分

会場：本学ユニゾン会館

講師：シスター ヘレン プレジャン

(映画「デッドマン・ウォーキング」原作者)

この他、秋には多くの公開講座、公開セミナーが行われます。

お問い合わせ先

(ホームページ) <http://www.notredame.ac.jp/>

大学総務課(電話) 代表075-781-1173

大学総務課(e-mail) general@notredame.ac.jp

支部だより

関東支部

支部長 藤田 英子 (15E)

2006年4月より15期生が支部役員を担当することになりました。以前、支部同窓会に出席した際に「子供が成人する位の世代が役員だから、回ってくるのは、かなり先の話。その頃は関東に住んでいないかも」と思っていた事がつい先日のように思い出されます。今では関東にいる年月が京都にいた時よりも長くなりました。



引き継いだのはいいけれど、何するの? という具合でスタートしましたが、6月に学年委員会を開催し、今後の方針や予定について話し合いました。関東地区に住む同窓生や京都のこと、通学当時の思い出などで話が弾みましたが、関東支部では2年に一度同窓会を開き、それがない年には何か行事を実施することになっています。ちょうど前回のマリアンに登場された10期の山本さんが出席されていて、機会があれば、歌声を聞かせて欲しいという話になり、「唄の講習会」を行事にする運びになりました。

9月に、関東ニュースを作成、支部の全会員に各学年委員を通して発送しました。10月22日には山本さんを講師に迎え「唄の会」を実施しました。亀戸のカラオケボックスを借り、15名程の集まりでしたが、あっという間に時間が過ぎ、充実したひと時でした。カラオケや流行歌に抵抗がある方も多いでしょうが、よく耳にした歌というのは、好き嫌いは別として、いつまでも記憶のどこかにあり、それを再生すると一瞬のうちにその時代や当時の自分を思い出すことが出来ると実感しました。親子関係が社会問題になる現在ですが、経験した年代を見直し、子供の立場になれるはずの大人が、その機会をつかめない事も影響しているように思います。今回の講習会は、そういう意味でも、色々と考え深いものになりました。

私事になりますが、小学校から女子大学までノートルダムでお世話になり、3人の妹も私と同じ道を歩みましたので、未だノートルダムなくして語れない日々を送っています。その影響もあってか、同窓会とはそれぞれが違った人生を送る中、年齢問わず共有できる何かで繋がり、いつでも暖かく迎えてくれる言わば「家族」のようなものだと思います。京都を離れた関東支部の皆様には、いつでも心安らく「故郷の家族のような会」でありたいと願っています。この秋には、支部同窓会を予定しています。是非ご参加下さい。

「支部同窓会」

2007年10月21日(日)12時～
八重洲富士屋ホテル

「関東支部役員」

<支部長> 藤田 英子(旧姓：市原)
<副支部長> 川崎 洋子(旧姓：野上) 古宇田 久美子(旧姓：加藤)

“Let's sing a song! に参加して”

岸村 ちづ子 (8E)

平成18年10月22日(日)、シダックス亀戸駅前クラブにおいて関東支部の講習会がありました。

「ふたり川」「青春のたまり場」という曲の歌唱指導を受けて、皆で心をこめて大きな声で歌いました。

その後、山本さんの素晴らしいミニコンサートで演歌の世界にひたり、今まで口ずさむこともなかった演歌のジャンルに少し触れた機会でした。そして、私がなによりも嬉しかったのは、やはり「懐かしのメロディーを歌いましょう」のコーナーで、「イムジン河」「風」「あの素晴らしい愛をもう一度」「卒業写真」などの懐かしいメロディーを、参加した世代はそれぞれ違っても皆で歌ったことでした。最初の3曲は私の好きな曲ベスト10に入っていて、いつでもあの頃に戻れるメロディーです。

今までは同窓生の方と学歌や聖歌を歌うことはあっても、このようなジャンルを歌うのは初めてだったので、貴重な体験をしたひとときでした。

“カラオケで歌うことは別の人生を体験すること”

関口 礼子 (13E)

山本すみ子さんは、笑顔が素晴らしく美しい方です。その輝くような明るさに誘われて、恐いもの見たさにカラオケの門をくぐったのです。

演歌は、私にとって最も遠い存在でした。もしかすると、一生口ずさむことがないかもしれない分野でした。これは間違いでした。演歌を歌うことは、自分自身にとって、あり得ない人生を数分間だけ体験できる貴重な機会であったのです。例えば、着てもらえるはずのないセーターを手編みすることなど私にはあり得ないことです。手編みが出来ないし、そんな想像すらできない人に、数分間だけなりきれるのです。カラオケは、異文化体験であり、魔法かもしれません。



中部支部

支部長 藤澤 欣 (2E)



この度、仙田様の後任として支部長をお受けすることになりました。永年、専業主婦をしておりますので、このような大任が果たせるのかと危惧しております。どうかよろしくお願い申し上げます。早いもので、大学を卒業してからもう40年の月日が過ぎました。私が在学していた頃は「NDウィメンズカレッジ」という単科大学でしたが、現在では「京都NDユニバーシティ」というふうに「京都」が頭に付き、学部の増設、大学院の併設等、充実した大学に発展していることを卒業生として、嬉しく思っております。大学の建学の精神である「徳と知」「品性と知性を兼ね備えた心で時代と向き合える女性の育成」と言う素晴らしいモットーが私達には与えられていることを、今一度ここで思い起こし、同窓会と大学の発展の為、少しでもお役に立てれば幸いと思っております。



「中部支部総会」



ホテルキャスプルプラザにて 2006.11.12

“ND女子大の先生、先輩、友人に支えられて”

加藤 雅美 (25E)

朝、小学校3年生の娘と幼稚園年少の息子が登校、登園後、家事を済ませると、私は午前中仕事に行きます。週2回は就園前の幼児とその母親の為の「親子リズム体操」の先生です。週3回は事務の仕事。社長が台湾人で、国際結婚後、帰化された台湾人の主婦の方と二人で働いています。台湾人から見た日本についての話が聞けて面白いです。夜は主人の帰宅後、週2回小中学生の家庭教師に行きます。「学研」と「家庭教師のトライ」に登録しています。難しい問題を大量に与えられ、問題を解くテクニックだけを覚え、根本を理解していない塾通いしている生徒を担当した時「自分で勉強し自分で考える力を子供自身が持つ」ことがいかに大切かを教えられます。子供の成長に必要なものは、「希望」「根気」「鍛錬」なのです。今の私があるのは、社会に出る前に「ND女子大」で学んだ事と、卒業後も変わりなく心の支えである友人、先輩そして恩師の方々のお陰です。そこには、神様の光を感じます。これからも、恩師、先輩、友人を大切に、頑張っ



「今年度の予定」

「友」発行 10月

「NDおあしす」 毎月第2金曜日

場所 国際センター（詳細は仙田まで）

親睦会（今秋）「岡崎八丁味噌の郷」見学

「中部支部役員」

<支部長> 藤澤 欣 (2E) <副支部長> 久保田恭子 (5E)

<書記> 杉山 康代 (18C) <会計> 高岡 貴子 (18C)

(地区) 同窓会 報告

中国・四国地区

佐野英子 (9E)

2006年5月27日(土) 鳴門市にある「大塚国際美術館」にて開催いたしました。映画「ダ・ヴィンチ・コード」が話題になっている時で、「最後の晚餐」の絵の前は多くの人が集まっていました。懇親会では、「最後の晚餐メニュー」を再現したという料理に興味深くいただきました。総勢17名の小さな会でしたが、Sr.セリン松本をお迎えし、本部役員会からは会長他3名の参加をいただきました。一人一人自己紹介しながら和やかなひと時を過ごしました。美術館の方が案内係を引き受けてくださったお陰で、巨大な美術館でしたが効率よく見学できました。天候にも恵まれ、有意義な一日でした。



大塚国際美術館

元木 美智子 (22C)

大学を卒業して20年が過ぎた時の流れに感動しました。昨年5月に開催された「中・四国地区同窓会」に参加させて頂いたことが私にはひとつのけじめになったように思います。上手に表現出来ませんが、ノートルダムの卒業生ということに自信が持てたと言うか誇りに思えたと言うか何となくという気持ちが確かにと思えた実感が「けじめ」になったのかもしれません。

私は現在育児と仕事の両立に奮闘している毎日です。この徳島でもノートルダムの先輩が頑張っている姿を見ると励みになっていたのが益々パワーアップしたし、シスターの全てを超越したような人生観には勇気をもらえました。シスターに大学4年間指導されていたことに納得出来たことは何よりも嬉しいです。その時シスターがおっしゃった「ノートルダムの絆で結ばれている」という言葉もとても素敵です。これからも私は「ノートルダム」という響きに感謝しながら生きていくことでしょう。

北陸地区

菅井郁子 (1C)



平成18年10月15日「第1回北陸地区同窓会」を金沢の日航ホテルで開催いたしました。相良学長を始め、人長会長、大田副会長、下水木副会長をお迎えし、記念すべき第1回目のスタートとなりました。このような運び

になったのは昨年8月の会長からの電話でした。「北陸3県(富山、石川、福井)には200名余りの同窓生が在住されているので、北陸地区だけで同窓会の組織を作りませんか?」については、発起人の一人になってもらえませんか」という内容でした。大変驚き戸惑いました。思い返せば、「結婚」「出産」「子育て」そして、主人の仕事の都合で石川県に住むようになり、いつの間にか35年余りが過ぎておりました。今まで同窓会への関心は、毎年送られてくる「会報」を見て、大学時代を懐かしく思い出し、JRに乗れば2時間足らずで京都へ行けるのにといいながら、やはり京都は遠い存在になっていて、残念ながら「総会」の返事はいつも「欠席」でした。そういう思いから、今回は富山、石川、福井の5名が発起人になり、地区同窓会を立ち上げることになりました。同窓会の案内を出したところ、「大学時代が懐かしい、嬉しい」と言うお葉書を頂き、立ち上げて良かったと、喜んでおります。しかし、多くの方は「子供が小さい」「出産間近」等の理由で「今回は無理だが、次回は是非・・・」という返事でした。

19年度の「第2回同窓会」は、子供同伴で参加できるような会を計画したいと思っております。



北陸地区同窓会幹事一覧

金沢地区	菅井郁子(藤井) (1C)
同	住駒禎子(北) (3E)
同	山田るり子(高瀬) (7E)
福井地区	長谷川まゆみ(牧) (2E)
富山地区	猪原千津子(服部) (8E)

和歌山地区



“一通の手紙より”

橋本 千勢子 (7E)

平成18年12月3日和歌山で初めての地区同窓会が開かれました。それは本部に送られてきた「和歌山にもぜひ地区同窓会を…」という一通の匿名のお便りに端を発しました。

人長会長よりその由の連絡を受け、又200人余りという県内の同窓生の多さにも驚きました。確かにお互いその存在を知らずに地方で生活していくのは「もったいない」と感じ、なんとか皆様と努力してみようという事になりました。

同窓会当日は相良学長をはじめ同窓会本部より会長、副会長、広報の方々がお出掛け下さいました。紀州という土地柄でしょうか、初対面同士とは思えない程打ち

解けた雰囲気の中、明るく、にぎやかに人間味あふれるスピーチが続き貴重なひとときでした。

さあ和歌山での同窓会が産声をあげました。これから皆様それぞれ色々な形で育って下さることを希望して…

See you again !!

“同窓会に参加して”

山崎 仁美 (21C)



12月3日、ロイヤルパインズホテルにて第1回和歌山地区の同窓会が開催されました。京都での総会には1度だけ出席した事はあるのですが、遠方なので

なかなか出席することができず残念に思っていたところ、今回初めて地元で開催される案内をいただき、嬉しくてすぐさま友人に連絡をして、出席することにしました。

当日は、1期生から27期生まで50人余りの人が集まり、各々の自己紹介では、時間が足らなくなる程の熱弁で趣味の事、仕事の事、子供の受験の事など様々。また寄宿舍での先輩、後輩であったり、年齢は違っても近所であったり、親戚であったりと初対面なのに一段と絆が深まった感じがしました。第2回の同窓会で再会できる事を期待しております。

九州・沖縄地区

坂本 佳枝 (1E)

2006年10月29日福岡市の博多都ホテルにて、九州・沖縄地区同窓会を開催致しました。参加者少数ではございましたが、第1期卒業生から第28期卒業生のそれぞれの学生時代の思い出話、仕事や子育ての話等を、熱く楽しく語らい、また懐かしい学歌の合唱をも交えた充実のひとときをすごす事が出来ました。

今回の開催にあたり、185名の方にご案内したところ、出欠のお返事を返送いただけたのは残念ながら半分以下でした。九州・沖縄地区はあまりにも広い為、開催地区を、いくつかに分けて行い、何年かに



一度全体の同窓会を催すのが、ベストな方法かもしれません。皆様方からのご意見、ご希望等お待ち致しております。ご一報下さいませ。

坂本 佳枝

山陽地区 (岡山・広島・山口県在住者)

「第一回同窓会」のご案内

平成19年6月3日(日)

ホテルグランヴィア広島にて



※ 地区同窓会を開催された場合
通信費(全額)は同窓会本部が負担します。

祝周年記念同窓会 報告

2 期生「40周年記念同窓会」

西本靖子・岡澤元子（2E）

私達2期生は卒業後40年となり、大学時代のことが走馬灯のように思い出される年代となりました。11月28日 午前の部として、三条のカトリック教会の都の聖母祈念堂にて恩師のSr.メリーユーヅニア、Sr.メリーヘレン、Fr.オドノヒュー他同期生5名の追悼ミサを行いました。マリア様の像の前でマクドナル神父様の柔らかなお説教の声が一瞬にして、ノートルダム卒業生の心を私達に蘇らせて下さいました。1時より京都ホテルオークラ7階アポロンの間に52名が集いました。遠くはアメリカ、台湾から参加して下さいました。マクドナル神父様、Sr.メリーセリン、Sr.メリージョセフにもご出席を頂き、本当に嬉しゅうございました。Sr.メリーセリンから大学のお話を伺い、時代の流れに戸惑いを感じたのは私だけではなかったと思います。シスターのおっしゃった「ノートルダムの絆を深める」とのお言葉の重みが今も心に残っております。

「今日は1948年の11月28日にアメリカより4名の宣教師の方が京都に赴任された記念の日である。」とお聞きし、偶然とは思えない何か目に見えない絆で結ばれているように感じました。そして、Sr.メリージョセフの卒寿のささやかなお祝いをさせて頂きました。シスターより日々の生活の信条を力強くお話して下さい、私達一同シスターのエネルギーをいっぱい頂きました。また、アメリカから参加のスポールディング陽子（旧姓二宮）さんの津軽三味線、有志のコーラスなどバラエティー豊かで、充実したひと時でございました。



7 期生「35周年記念同窓会」

斎城典子・高嶋明美（7E）

「お元気!?」「お久しぶり!」と明るい声が華やいたのは、平成18年10月29日、北山通りのレストラン「NORD by NIKI CLUB」。

今回は記念すべき同窓会。同期生の瀧川ドーランスはるみさんのピアノ、姪の名古春香さん（12歳）のチェロの演奏を特別にお願いして、美しい音色に耳を傾けながら始まりました。心地よい「前菜」にうっとりし、お食事をしながら楽しいおしゃべりに夢中。あちらこちらで

彩り豊かな花が咲きました。

参加した29名の一言スピーチでは、子どもの結婚、孫の誕生、老親の介護、家族との別れ、趣味に没頭など、喜んだり、悲しんだりといった人生のさまざまな一コマを披露。でも一番の話題は自分たちの健康と年金!と大笑い。年月を重ねて、それぞれが歩んで来た道は違っても、素晴らしい4年間を一緒に過ごせたことを、皆が改めて実感できたひとときでした。

二次会の会場は懐かしい母校へ。中庭に集まって、さらにゆっくりとくつろいだ時を過ごしながら、名残を惜しみました。



12 期生「30周年記念同窓会」

西岡由美子・北澤みよ子（12E）

平成18年5月21日（日）宝が池プリンスホテルにて、「総会」終了後「同期会」を開催いたしました。

5年毎に開催している同期会ですが、今回が初めての方もいらっしゃいました。千葉、埼玉、岡山等遠方の方も含め31名が集い、楽しい時間を過ごしました。「総会のエンターテインメント」をお願いした「坂下日出美」さんも一同期生に戻り、学生時代にタイムスリップ!「総会」では3テーブルに分かれ、それぞれに話が弾み、同期会の会場に移動してからは、現在の仕事、子（孫?）育て、介護等、近況報告で盛り上がり、延々と夕方まで会は続きました。そして再会を約束しつつ散会となりました。5年後にまた、会いましょう!!



「琵琶湖のほとりで」



シスター セリーン 松本

大学在職中、ラフォーレ琵琶湖でのフレッシュマン・キャンプに同行しました。毎年「鴨の母さん」を修道院へのお土産にするのが習慣となり、「鴨の母さん」の日と言えば何処へ行くのか暗黙の了解が出来ていました。「鴨の母さん」は親鴨の背に子鴨が乗っている半生菓子です。

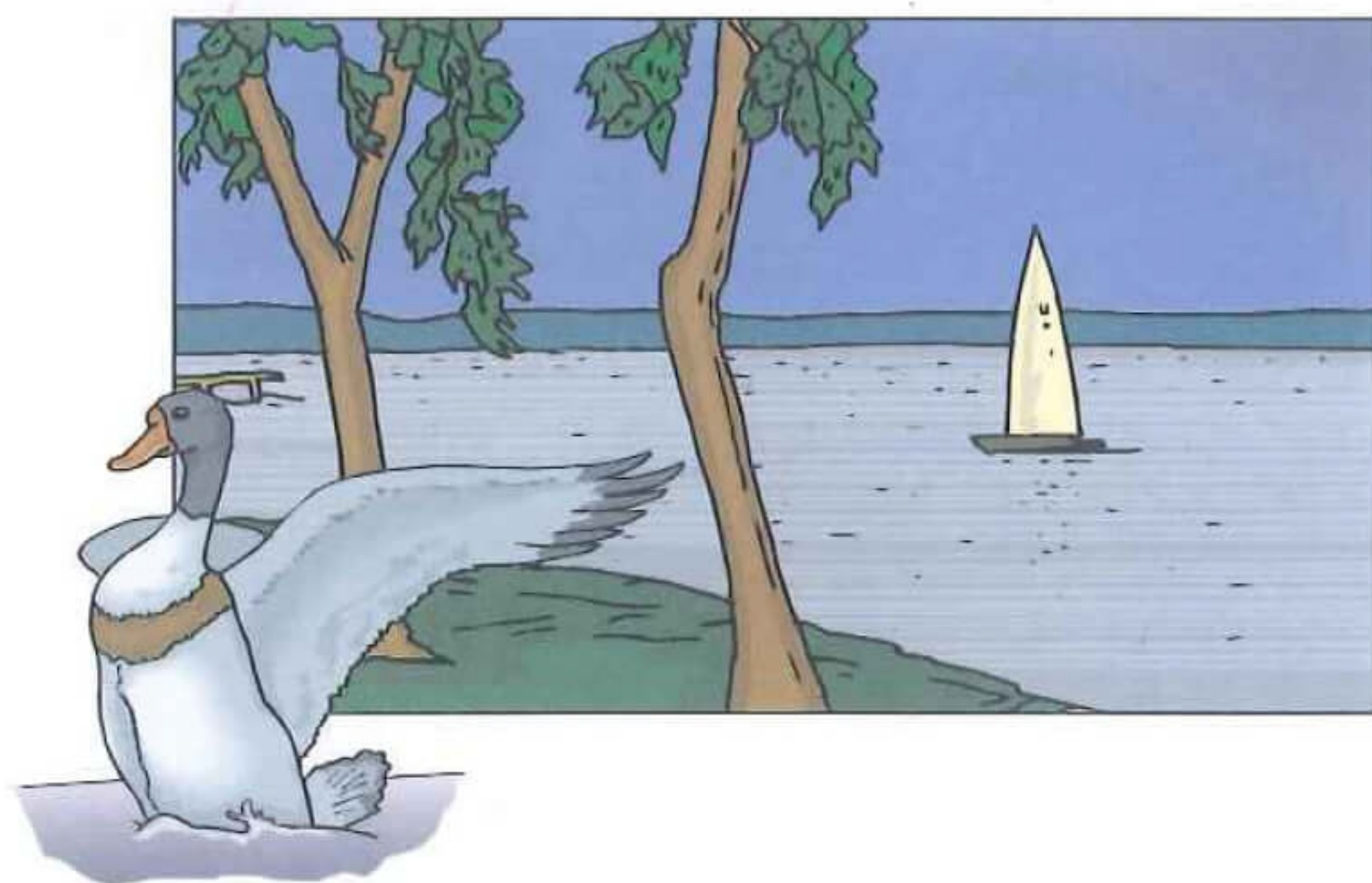
退職後、私は唐崎に転居しました。修道院の食堂から前方に広がる琵琶湖の眺めは一幅の絵のようで、瞬時に変化する湖面や水辺で遊ぶ種々の水鳥を眺めるのが楽しみになりました。春のある日、動いている紐を見つけました。それは鴨の家族で、親鴨を先頭に、数えると9羽もの小さな子鴨が一直線になって泳いでいるのです。よく見ると親鴨の背に一番ちっぽけな子鴨が乗っているではありませんか。私は思わず、「鴨の母さん」と歓声をあげてしまいました。実物が目の前に現れたのです。

それ以来、鴨の家族を見るのが楽しい日課の一つになりました。そのうちに子鴨はだんだん大きくなり、あちこちへ行ったり来たりしながら親鴨の後に連なって目の前を横切って行きます。夏になると、数え切れない鴨家族の集団が何処からともなく集まって来て、水浴びをしたり、水中に頭を突っ込んで餌をあさったり、自由に動き回るようになりました。不思議なことに私たちが食事をする同じ時間にやってくるのです。初冬になりました。子鴨は成長し、独立したのでしょうか、湖面に姿を見せるのは番の鴨の群れです。寒いので羽を膨らませているのか、みんな小太りに見えますが、2羽ずつ仲良く餌を食べたり、嬉しそうに羽ばたいたり、のんびりと湖面に浮かんでいます。真冬になった今では、動く集落のように鴨の群れが朝昼集まっては解散して行きます。まるで時間を決めて話し合いや共同作業をしているかのようです。鴨の危険感知度は高く、急に一定方向に動き始めたと思うと、遠くから船が来ているのです。一斉に羽ばたいてすばやく逃げたと思うと、大きい鳶が旋回しています。ある時は何かを感じているのでしょうか、小さな

ってなりをひそめ、動かなくなります。

このように季節と共に変化する鴨の生態は、人間の家族、成長過程、生活の営みを思わせるものがあり、祈りと黙想の生きた題材を提供してくれます。大津方面に来られたら、是非この風景を眺めに来てください。

卒業生の再会と親睦の場をかねて、人生を振り返る静かな憩いの機会を年に2回、夏と秋に企画しています。興味のある方は、是非ご参加下さい。



NDおあしす.....

憩いの集い案内

お忙しい毎日をお過ごしのことでしょう。2007年度も、例年のごとく卒業生のために、一泊憩いの集いを二度計画しました。日常の場所を離れて、琵琶湖のほとりの修道院でゆっくり心身ともに休養し、霊的エネルギーを補給し、自分を取り戻す機会にさせていただけたらと思っています。

日時：① 7月16日(月) 18時～17日(火) 16時

② 11月26日(月) 18時～27日(火) 16時

場所：ノートルダム唐崎修道院

定員：15名(個室) 先着順

献金：¥6,000(一泊 三食代を含む)

参加ご希望の方は、次のいずれかの方法でご一報ください。ご連絡下さった方には、後日、詳細を送付いたします。

連絡先 〒520-0106

大津市唐崎一丁目3-1 ノートルダム修道院

シスターセリーン 松本

Tel: 077-579-2937/077-579-2884

Fax: 077-579-3804

Mail: celine-matsu@mbp.nifty.com

(件名:NDおあしす)



18年度 チャリティーバザー報告

平成18年10月19日(木)、マリアンハウスの一大イベントのチャリティーバザーが開催され、同窓生はもとより、教職員、シスター、ご近所の方々等総勢100名近くの参加があり、大変盛大かつ和やかな会となりました。

1階ラウンジでは、例年通り喫茶・軽食コーナー、寄贈品、手芸ボランティアやスタッフによる手作り作品、委託品などの販売で賑わいました。又、マリアンコーラスによるミニコンサートでは、メンバーによる合唱の他、同窓会顧問東朝子先生による美しい独唱の披露もあり、喧騒の中にもおごそかな空気が流れ心がひとつになった様でした。

2階では、今年は趣向を変え卒業生による作品展示会



場とし、例年の書道クラスの展示に加え、ゲビンデ(4期木村さん)・シャドウボックス(9期辻さん)の素晴らしい作品を展示・紹介して頂きました。これも大好評でしたので今年の10月のバザーでもご自分の作品を紹介したいと思われる方がありましたら、マリアンハウスまでご連絡下さい。

これからもマリアンハウスのチャリティーバザーは皆様のご好意と熱意と創意工夫により、益々楽しいイベントとなっていくことでしょう。

皆様のご協力とご参加を心よりお待ちしております。



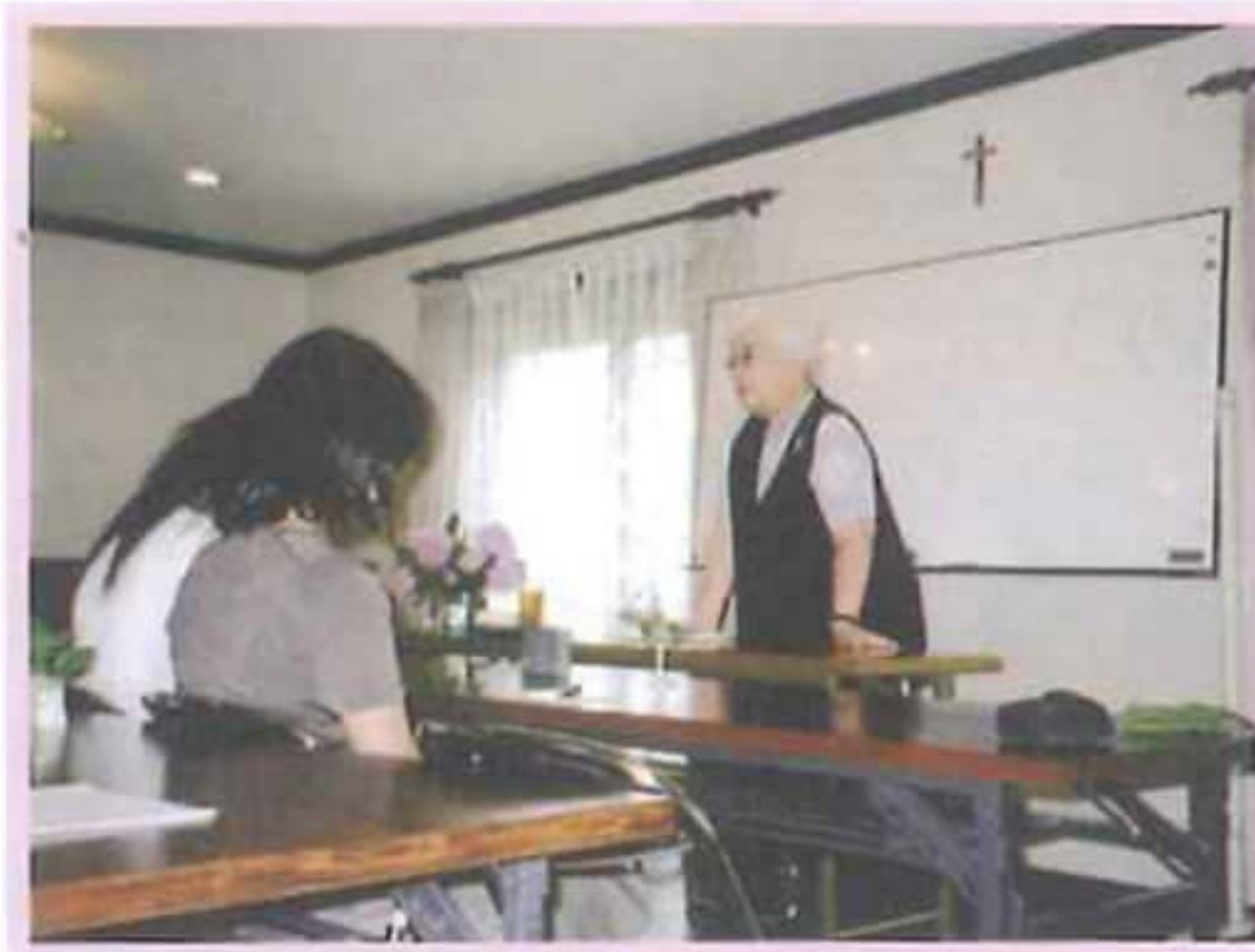
平成19年度 マリアンハウスチャリティーバザー 10月18日(木)午前10時半～午後2時開催!

マリアンハウス運営委員会からのお知らせ

今年もたくさんの寄贈品をお送り下さいますようお願い申し上げます。又、マリアンハウスのプログラム(下記参照)への申し込みやご意見、ご希望なども併せてお待ちしております。



クリスマスツリービーズペンダント講習会



丸山公子先生「講演会」

19年度マリアンハウス文化プログラム

月 日	時 間	内 容
H19 6月25日(月)	10:00-12:00	健康エクササイズ(タオル一本で肩凝り解消) 三浦照子先生
7月25日(水)	10:30-12:00	「似合う色を探そう」カラーリスト下山千裕先生
9月26日(水)	10:30-12:30	バザー用作品作り
10月18日(木)	10:30-14:00	チャリティーバザー
11月28日(水)	10:00-12:00	アート工芸盆栽(正月飾りヤブコウジ) 門順子先生
H20 3月26日(水)	10:30-12:00	ケーキ講習 西村玲子先生
4月23日(水)	11:00-14:00	和食マナー講座(会場検討中) 西村早苗先生

* 諸般の事情により日程の変更があります。お問い合わせはマリアンハウスまで。

マリアンハウススタッフ

北尾 禮子(3C) 西岡由美子(12E) 國澤 裕子(12C)
山田 恵子(12E) 森本 純子(14E) 鶴田 倫代(20E)
北谷貴代子(23C) 稲田 蘭貴(23C) 津田真由美(23C)

寄贈品送り先・その他連絡先

〒606-0015
京都市左京区岩倉幡枝町628
マリアンハウスTel&Fax 075-701-9149

「ドイツ、バイエルン地方の手工芸」

木村 朋子(4E)

約三百年前、オーストリアのバイエルン地方の修道院で、布教活動を支える為に、修道女が聖職用の金属性ワイヤー、ブリヨン（金、銀）を使って作り続けていた工芸です。特にザルツブルグで作られる「ゲビンデ」は、華やかさと洗練された高度なテクニックのものとなり、貴石や真珠、ビーズや布花、香草、木の実等を種々のブリヨンワイヤーを巧みに多用しながら色々な形に仕上げます。（特にヨーロッパでは、幸運や健康、復活や再生等と呼ばれる形を、祈りを込めて、親から子供、友人へと贈ります。）また、さまざまなパーツを組み合わせる事によって、無限の作品が生まれ色どりの良いリボン等をふんだんに使い、室内装飾や小物を作り香りと共に楽しむドイツ独特の伝統工芸品です。当地に於いては、ゲビンデを作れる人達も少なくなっており、少しでも多くの人達に、すぐれた文化に裏付けされた「ゲビンデ」を知っていただき、作る楽しみを体験していただけたら嬉しく思います。



「ドイツの手工芸に出会って」

島田 真由美(4E)

数十年ぶりの同窓会で木村さんと会い、木の実やスパイスを使った「ゲビンデ」という工芸の話を聞きました。

興味深く思っていた所、同窓生五人でゲビンデの作品を見せてもらいながら作ってみる機会に参加し、数回のつもりが、もう四年目になります。出来上がっていく達成感と木村さんの色使いのすばらしさ、作品が家に並ぶ喜びが続いています。またミニ同窓会の様な雰囲気でおけな集まりにも楽しませてもらっています。



「シャドウボックスと私」

辻 知代(9E)

私は、現在、兵庫県高砂市に住んでいます。大学卒業後、一度も同窓会行事に出席したことがありませんでした。ところが、昨年の夏に書道部の同窓会があり、それをきっかけに、「チャリティーバザー」で「シャドウボックス」と「粘土工芸」の作品を展示する運びとなりました。お蔭で、多くの同窓生の方々と触れ合うことができ、ほのぼのとした、あの懐かしいND女大時代が思い出されました。私が、「シャドウボックス」(3Dデコパージュ)と出会ったのは、約20年程前、横浜にいた時でした。あるお宅を訪問した折、お部屋に飾られていた額があまりにも素晴らしく衝撃的で感激しました。それは、「アントンペック(オランダのイラスト作家)」の描いたアムステルダム

の街の景色でした。その絵は、パーツ毎にカットされ、重ねて貼って、ピンセットとモデラーで表情をつけ、厚みのある額に入った上品な立

体絵だったのです。早速、私は「ピーターラビット」の絵葉書を買ひ、彼女に教えを請うことになりました。ところが、主人の転勤で高砂市へ…、こちらへ来ても、すぐ神戸の教室を見つけ、通い続けました。そして、念願の「アントン」をはじめ「フォックスウッド」「花」「景色」「和風」と、いろんなジャンルのものを小品から大作へと挑戦しています。その傍ら、安全で美味しい野菜を食べたくて「家庭菜園」にも挑戦しています。年々種類が増え、このお正月は、黒豆、水菜、大根、etc.が食卓を賑やかしました。健康の為にも戸外で身体を動かすのは気持ちのいいことです。これからも多くの趣味を持って過ごしていきたいと思っています。



辻知代様(右から二人目)



アクティビティー案内

ク ラ ス	講 師	内 容	場 所 ・ 日 時	責 任 者
英 会 話	シスター モリー	能力に関係なく楽しめる英会話	ユージニア館1階 同窓会室 第2・第4月曜日10:30~12:00 5月14日より開始	大隅万佐子(2E) 尼口 栄子(3E)
書 道	寺田 九絲	漢字は三體(さんたい) 千字文、かなは梅雪かな帖等をけいこする	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30~12:00 5月16日より開始	竹内ルリ子(17C)
フランス語	阿部 哲三	Michel Tournierと宮沢賢治の詩の仏語訳を読む	ユージニア館1階 同窓会室 第1・第3火曜日10:30~12:30 5月15日より開始	西尾 年代(10E) 山本美和子(19E)
マリアン コーラス	東 朝子	ストレッチ、発声練習で身体をほぐし、聖歌、季節や時の歌で心を豊かにする	ユニソン会館B1 音楽練習室 第3木曜日 10:30~12:30 5月17日より開始	黒柳まゆみ(13E)
英語で 書こう会	シスター セリン松本	英会話感覚の英作文を楽しく…	マリアンハウス 第4金曜日 10:30~12:00 5月25日より開始	丹羽 知子(9E)
NDおあしす 京 都	シスター セリン松本	より豊かに生きるために聖書を日常生活と関連づけて読む(会費無料)	マリアンハウス 第4金曜日 13:00~15:00 5月25日より開始	丸山ヒデ子(4E)
NDおあしす 名 古 屋	シスター セリン松本	同窓生のためのオープンスペース 共に学び、祈り、支え合い、はげまし合う	国際センター 第2金曜日 10:30~12:00 祭日は休講	仙田悠美子(3E)
手 芸 ボ ラ ン テ ィ ア		手芸品製作・販売 あなたの作品・アイデアをお寄せください	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30~15:00 5月18日より開始	小林 京子(17E)

※各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)又は2,500円(5回/学期)。

※各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

※お申し込み、お問い合わせは各責任者又はマリアンハウスまで。

●クラスアクティビティー 感想文●

「英会話に参加して」

尼口 栄子(3E)

ずっと昔に大学を卒業しましたが、仕事や色々な都合で、同窓会のクラスアクティビティーに参加したくても出来ませんでした。シスターモリーが指導されている「英会話クラス」に参加するようになって、英語を話すことの楽しさは勿論のこと、シスターの明るいお人柄から溢れる楽しいお話が、私を引き付けています。「英語を聞いて笑えるなんて…スゴイ!」笑い過ぎてシワが増えないかと心配するほどです。また、様々な年代の方と親しくお話することで、新しい発見があるのも嬉しいことです。「もう英語とは縁がないわ」と思っている方・・・頭脳老化防止に「笑い」とそして「少しの努力」はいかがでしょうか・・・?

「楽しく学べる」最高のクラスです。



日本文化研究会19年度予定表

- 2007.6.26(火) 重森三玲庭園美術館見学
京都大学時計台レストラン昼食
- 9.25(火) 短歌講演会
源氏物語千年紀を迎えて・源氏物語の和歌
- 11.27(火) 陽明文庫見学
- 2008.1.22(火) 新年会“能の世界”
ウェスティン都ホテル
- 3.27(火) 雁の寺・相国寺特別展・承天閣美術館見学
同志社大学カフェテラス昼食
- 原則第4火曜日(変更あり) 登録費 千円(年間)

責任者

山本 純子(1E)

家村 悦子(4E)

「国際交流マリアン奨学基金」について

同窓会は、大学創立40周年を記念して、外国人留学生を支援する目的のため、「国際交流マリアン奨学基金」を設立しました。昨年は、「新2回生への奨学金授与」と「日帰りツアー」を実施いたしました。

- ①平成18年6月28日（水）4名の新2回生に一人当たり2万円授与。
②平成18年12月8日（金）「日帰りツアー」。

※留学生数（2007・1・1現在）

大学院	1年	1名(中国)
	2年	2名(中国)
大 学	1年	9名(中国7名、韓国1名、台湾1名)
	2年	4名(中国4名)
	3年	4名(中国3名、韓国1名)
	4年	7名(中国5名、韓国1名、台湾1名)
交換留学生	3年	3名(韓国2名、ベトナム1名)

「第4回留学生のための日帰りツアー」

今回は「西陣の町並み見学」と題し、徒歩で西陣地区の歴史と文化をじっくり体験する計画を立てました。12月8日は曇天。北野天満宮前に留学生15名と役員9名が集合し、まず上七軒の花街散策から始まりました。千本釈迦堂は丁度「だいご炊き」の日で、大勢の人が行列していました。そして、古い町並みの細い路地を行進。昼食は「天々」さんのご好意で、留学生達が経験できないかもしれない「純和風の座敷」での「純和風料理」でした。その後、「織成館」～「三上路地」を経て、最後は「鶴屋吉信」のお茶席へ到着。稲田様（マリアンハウス・スタッフ）のお世話のもと、ねり菓子の実演を見学し、お抹茶のお作法を学びながら、しっかりと日本の文化を身につけることができました。



人間文化学科
4回生
稽 礼穎
(ケイレイエイ)
(中国)

時間の流れが速くて、私はもう四回生になりました。毎年、同窓会の先輩たちと旅行するのは楽しみです。今年は京都のさまざまな名所を案内していただきました。

今回の旅の中で一番印象に残ったのは、織成館です。一番奥にある工房を見せてくれました。昔の雰囲気漂う中で五、六人の職人さんがそれぞれ違う織物を織っていました。一人の優しいおじさんが、織物について詳しく説明してくれました。手織りの大変さ、素晴らしさを改めて感じました。最後は、有名な和菓子屋「鶴屋吉信」で和菓子の実演を見ました。白餡や粒餡などは職人の手によって、目の前で椿になったり、菊になったり、まるで手品のように、なかなか貴重な経験になりました。最後に茶席で和菓子と抹茶を頂きました。

今回の旅で、日本の文化、京都の魅力を改めて感じました。このような機会を与えてくださった同窓会の皆様に心から感謝します。



心理学部
2回生
宮 彩迪
(ミヤ サイテキ)
(中国)

楽しみにしていた今年の留学生ツアーがやっとやって来ました。全国でも有名な北野天満宮から始まり、千本釈迦堂、釘抜地蔵などの名所を訪れ、「天々」という京都情緒あふれる料理屋でとてもおいしい昼食をとりながら、みんなで楽しく話をしました。西陣といえばまず織物が浮かびます。「織成館」は私たち留学生にとって、とても貴重な体験でした。詳しい解説をまじえながら、西陣織の作業現場を見て、一つ一つ細かい作業に驚きました。そして京都でも有名な和菓子屋「鶴屋吉信」で伝統的な和菓子を食べ、茶道も体験しました。今回のツアーを通じて、京都の文化をより知ることができました。ありがとうございました。来年もみんな楽しみにしています。



ベトナム国立ホーチミン
人文社会科学大学
交換留学生
Pham Thi Cam Van
(ファン ティー カン ヴァン)
(ベトナム)

「お座敷は初めて?」「もちろん、あなたも初めてでしょう?」同窓会で開催していただいた「留学生のための日帰りツアー」はお座敷での昼食でした。そうです! お座敷です! しかも、風情のある庭に囲まれた京都の天ぷらの老舗です。「わっ、おいしい!でも少ないよ」と言った食いしん坊の私は、次々に出てきた料理を食べていたら、いつの間にか満腹になっていました。美味しい物を少しでも食べること、食べる時にわくわくする気持ちで食べられるからでしょうね。日本料理が少しずつきれいな器に入っている理由がわかったような気がしました。みんな大喜びでいただきました。

昼食後は西陣の昔ながらの狭い道を通って、帯の工場見学をし、和菓子店でお菓子とお抹茶をいただきました。

京都に来てもうすぐ一年になります。自転車ですぐ町をぐるぐる回るのは私の趣味ですが、今回のように親切に各所の説明をしていただいたのは初めてでした。このツアーはとてもよい勉強になり、忘れられない素晴らしい思い出となりました。ありがとうございました。

学年委員名簿

	姓	名	姓力ナ		姓	名	姓力ナ		姓	名	姓力ナ
01C-005	山 本	秀 子	ヤマモト	22E-021	山 田	三起子	ヤマダ	36E-123	中 村	由 佳	ナカムラ
01E-008	須 藤	郁 子	スドウ	22E-174	田 中	幸 子	タナカ	37C-089	藤 澤	みさと	フジサワ
02E-005	重 松	清 子	シゲマツ	23C-009	瀧 井	優 子	タキイ	37C-093	植 田	哉 恵	ウエダ
02E-022	富 田	靖 子	トミタ	23C-019	北 谷	貴代子	キタタニ	37E-135	佐々木	麻 衣	ササキ
02E-039	瀬 戸	美奈子	セト	24C-030	久 世	直 子	クゼ	37E-156	寺 地	祐 子	テラチ
03C-035	細 川	晴 代	ホソカワ	24C-031	中 野	恵 美	ナカノ	38C-098	荒 木	安 子	アラキ
03E-076	篠 崎	加代子	シノザキ	24E-010	毛 利	なおみ	モウリ	38C-106	辻	香菜子	ツジ
04C-014	藤 田	美 子	フジタ	25C-061	右 近	奈 美	ウコン	38E-035	稲 田	智彌子	イナダ
04E-077	小永井	宏 子	コナガイ	25E-047	工 藤	裕 美	クドウ	38E-119	小 木	麻里子	オギ
05E-025	阪 村	道 子	サカムラ	25E-190	富 田	有 香	トミタ	39C-052	森	恵 里	モリ
05E-067	林 寺	真智子	ハヤシデラ	26C-050	猪 飼	喜 代	イカイ	39E-057	神 谷	美也子	カミヤ
06C-010	平 田	節 子	ヒラタ	26E-025	樋 口	純 子	ヒグチ	39E-113	中 薮	三 鈴	ナカヤブ
06E-059	岩 手	令 子	イワテ	26E-066	辻	展 子	ツジ	40E-070	多 田	貴美子	タダ
07C-057	山 岡	和 恵	ヤマオカ	27C-035	高 井	麻 里	タカイ	40E-088	芳 野	麻里絵	ヨシノ
07E-036	前 田	陽 子	マエダ	27E-005	中 井	祐 里	ナカイ	40H-011	川 嶋	絵理子	カワシマ
08C-006	五由出	千 晴	ゴユデ	27E-134	高 嶋	佳代子	タカシマ	40H-033	山 川	智 加	ヤマカワ
08E-072	前 田	百合子	マエダ	28C-034	西 村	和 香	ニシムラ	40P-003	伴	郁 美	バン
09C-023	下水木	淑 子	シモミズキ	28C-056	樋 口	早映子	ヒグチ	40P-076	島 田	れい子	シマダ
09E-019	吉 田	梨予子	ヨシダ	28E-076	木 下	智香子	キノシタ	40P-077	島 本	佳代子	シマモト
10C-006	大 槻	純 子	オオツキ	28E-146	近 藤	尉 江	コンドウ	40W-075	藪 田	亜 耶	ヤブタ
10C-020	阪 上	和 子	サカガミ	29C-046	入 江	まどか	イリエ	40W-082	吉 田	千 晃	ヨシダ
10E-078	小 坂	由利子	コサカ	29E-133	西 浦	広 子	ニシウラ	41E-029	稲 垣	直 子	イナガキ
11C-045	峯 松	伴 美	ミネマツ	29E-242	葭 田	奏 子	ヨシダ	41E-039	川 合	智 子	カワイ
11E-027	太 田	美由紀	オオタ	30C-061	阪 原	万 理	サカハラ	41H-016	金 川	泰 子	カナガワ
12C-020	角	明 子	スミ	30C-083	内 田	真 理	ウチダ	41H-023	松 本	桜 子	マツモト
12E-068	山 田	恵 子	ヤマダ	30E-102	水 原	有 美	ミズハラ	41P-005	馬 場	恭 子	バンバ
13E-059	前 田	裕 子	マエダ	30E-121	西 田	直 子	ニシダ	41P-028	今 津	幸 子	イマツ
13E-081	中 田	由利子	ナカタ	31C-024	景 山	由 貴	カゲヤマ	41W-033	葛 本	桂 愛	クズモト
14C-005	鈴 庄	香	スズショウ	31E-092	森 口	明 美	モリグチ	41W-047	中 森	晴 美	ナカモリ
14E-065	谷 口	圭 子	タニグチ	31E-171	谷	照 美	タニ	42E-053	中 村	央 希	ナカムラ
15C-023	溝 渕	訓 子	ミゾブチ	32C-022	伊 東	香 織	イトウ	42E-071	白 神	香 織	シラガミ
15E-160	石 部	和 代	イシベ	32C-055	長谷川	真 矢	ハセガワ	42H-040	田 中	優 子	タナカ
16E-064	多 羅	晶 子	タラ	32E-002	森 川	依 恵	モリカワ	42P-051	岡 田	翔 子	オカダ
16E-171	若 森	美 加	ワカモリ	32E-162	鳥 本	光	トリモト	42P-055	大 澤	藍	オオサワ
17C-006	弘 部	裕 美	ヒロベ	33C-074	中 川	菜穂子	ナカガワ	42W-020	揖 野	貴美子	イノ
17E-184	山 西	令 子	ヤマニシ	33E-032	前 田	智 子	マエダ	42W-033	宮 川	明希子	ミヤガワ
18C-048	萩 原	道 子	ハギワラ	33E-172	芝 吹	真由美	シバブキ				
18E-043	荒 井	友紀子	アライ	34C-027	片 岡	道 子	カタオカ				
19E-025	清 木	なぎ子	セイキ	34C-044	森 川	真 紀	モリカワ				
19E-124	宇 山	尚 子	ウヤマ	34E-129	成 徳	睦 子	ナリトク				
20C-062	柴 田	宏 美	シバタ	34E-189	谷 口	明日香	タニグチ				
20E-189	朝 隈	純 子	アサクマ	35C-055	城	かおり	ジョウ				
21C-059	久富木	深 雪	ヒサトキ	35C-088	高 岡	裕 子	タカオカ				
21C-075	田 中	宣 子	タナカ	36C-058	二 保	友 美	ニホ				
21E-063	森 澤	祥 子	モリサワ	36C-061	山 下	まり子	ヤマシタ				
21E-080	岸 本	明 子	キシモト	36E-109	中 村	裕美子	ナカムラ				

学年委員交代に関して

★学年委員の任期は最長5年を目安とし交代する

(お声がかかりましたら是非お引き受けくださり同窓会との絆を深めてください。)

〈名簿係よりお知らせ〉

個人情報保護法により同窓会として、名簿の管理、取り扱いを次のように致します。

有料で発行していた同窓会名簿は今後(新たに)発行致しません。

名簿が必要な場合は、事務局または学年委員にお問い合わせください。

平成19年度

第43回総会のお知らせ

日時 5月20日(日) 午前11時 (受付 10時30分～)

場所 グランドプリンスホテル京都「高砂の間」

(※平成19年4月1日より京都宝ヶ池プリンスホテルはグランドプリンスホテル京都に名称が変わりました。)

地下鉄「国際会館」下車 TEL 075-712-1111

会費 6,000円 子供(小学校以下) 1,500円

エンターテインメント 「高石ともや ミニコンサート」

“同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか?” 今回のエンターテインメントは、「フォークの神様」と呼ばれている「高石ともや」さんをお迎えします。北海道生まれですが、京都在住25年です。コンサートや講演会など、全国で幅広く活動を続けておられます。今再び注目されている「フォークソング世代」の先駆けとして、この混沌とした時代にきちんと歌っています。今年も祇園祭期間中に27回目の「宵々山コンサート」を円山音楽堂にて行います。

「高石ともや」さんからは、明るく楽しく生きていけるエネルギーをもらえるでしょう。「大草原の小さな家」(ローラインガルス作)のドラマの中で歌われていた聖歌を訳詞して歌います。この唄を聴けば、きっと皆様は勇気づけられることでしょう。もちろん、皆様との「Sing Out」も楽しんでいただけたらと思います。

この機会に是非、皆様お誘い合わせの上、お集まりください。そして、「ノートルダムファミリー」であることを喜び合いましょう。

13期生学年委員 中田由利子
前田 裕子

高石 ともや プロフィール



1941年生まれ、北海道雨竜町出身。現在、京都市上桂在住
1966年“思い出の赤いヤッケ”でフォーク歌手としてデビュー
その後、“受験生ブルース”“陽気にゆこう”等を発表
ギター1本で全国を歌い回る独特のスタイルを築く
35歳からホノルルマラソンに参加、30回連続出場
40歳の時、日本初のトライアスロン大会で優勝。「走る歌手」とも呼ばれている「健康」「家族」等をテーマに講演活動にも力を注いでいる
2004年、NHKテレビ「上方倶楽部」に出演、西国33カ所巡りの案内人をつとめた
2007年2月、NHKテレビ「ようこそ先輩」に出演

アスリート歴

1989年 日本初のトライアスロン大会、皆生トライアスロン大会優勝
1989年 オーストリア1,011km、ウルトラマラソン日本人初完走
1993年 アメリカ大陸横断マラソンレース完走(日本人初)5位
2003年 トライアスロン世界大会、60～65歳の部出場

主なCD

CDブック「さあ、陽気にゆこう」 CD「ファミリーフォーク12曲集」

祝周年

40周年 3期

35周年 8期

30周年 13期

25周年 18期

20周年 23期

15周年 28期

学年同窓会を開催される場合、同窓会より1回につき1万円の補助があります。
封筒・住所シールは同窓会が提供いたします。
詳細は同窓会本部までお問い合わせ下さい。

編集後記

前回から装いを新たにした会報「マリアン」は、きれいなカラーになり大変読みやすくなったと好評を得ました。様々なご意見も賜り、多くの同窓生が興味を持って読んでいただいたことを嬉しく思います。昨年は、北陸と和歌山地区の同窓会が誕生いたしました。この会報が全国の同窓生と母校との架け橋になり、ノートルダム精神を改めて振り返る場所になれば幸いです。人長会長が提唱されている「心のホットライン」＝「同窓会」＝「ノートルダムファミリー」を皆様に感じていただけるような、内容のある楽しい会報を作っていきたいと思います。「会報37号」のために、執筆を引き受けてくださいました方々、ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

(広報) 羽鳥美登里 (9C) 田藤博子 (10E)



マリアンハウス



■開館曜日・時間／月・水・金 10:00～15:00
(但し、上記以外でも相談の上、使用可。)

■年間休館日／●夏休み 8/1～8/31
●冬休み 12/20～1/10



開館使用料	1F ホール 3,000 円
	2F ・和室 (8 畳) 1,500 円 ・和室 (6 畳) 1,500 円 ・洋室 (6 畳) 1,500 円 使用時間: 10:00～15:00 冷暖房、台所使用可。
宿 泊	1泊1人 2,500円 (2名より10名まで) チェックイン: 15:00～17:00 チェックアウト: 10:00迄 キャンセル: 5日前までに以後は 50%のキャンセル料 冷暖房、台所、浴室使用可。